

令和6年度における施策
の成果並びに予算執行の
実績に関する説明書

(決算附属資料)

地方自治法第233条第5項の規定により、令和6年度における施策の成果並びに
予算執行の実績に関する説明書を次のとおり提出いたします。

令和7年8月21日 提出

淡路広域消防事務組合

管理者 守本 憲弘

1 決算の概要

令和6年度一般会計歳入歳出決算については、歳入総額 2,475,727,994 円、歳出総額 2,435,430,445 円で、歳入歳出差引額 40,297,549 円となりました。

令和4年度～令和6年度決算の推移

(単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比較(R6-R5)	
				増減額	増減率
歳入	2,034,293	2,381,836	2,475,728	93,892	3.9%
歳出	1,999,352	2,338,104	2,435,430	97,326	4.2%
歳入歳出差引額	34,941	43,732	40,298	△ 3,434	△ 7.9%

翌年度へ繰り越すべき財源として 4,185 千円あり、実質収支は 36,113 千円となります。

実質収支から前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、△7,619 千円となりました。

また、前年度繰越額 43,732 千円のうち、30,904 千円は財政調整基金に積立てたことにより、実質単年度収支は、6,885 千円の黒字となりました。

令和4年度～令和6年度決算収支の状況

(単位：千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1 歳入総額	2,034,293	2,381,836	2,475,728
2 歳出総額	1,999,352	2,338,104	2,435,430
3 歳入歳出差引額 (1 - 2)	34,941	43,732	40,298
4 翌年度へ繰り越す べき財源額	2,140	0	4,185
5 実質収支額 (3 - 4)	32,801	43,732	36,113
6 単年度収支 (5-前年度分5)	6,677	10,931	△ 7,619
7 財政調整基金積立金	264	430	30,904
8 繰上償還額	13,140	18,650	0
9 財政調整基金取崩額	0	9,000	16,400
10 実質単年度収支 (6 + 7 + 8 - 9)	20,081	21,011	6,885

2 歳入

収入済額を前年度と比較すると、93,892（3.9％）の増加となりました。

構成市事務組合分担金の増加が主な要因となっています。

令和4年度～令和6年度 歳入の推移

（単位：千円）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		前年度比較(R6-R5)	
	収入済額	構成比	収入済額	構成比	収入済額	構成比	増減額	増減率
分 担 金 及 金	1,904,632	93.6%	1,956,313	82.1%	2,037,373	82.3%	81,060	4.1%
使 用 料 及 料	2,336	0.1%	2,293	0.1%	2,417	0.1%	124	5.4%
国 庫 支 出 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
財 産 収 入	1,145	0.1%	901	0.0%	387	0.0%	△ 514	△57.0%
繰 入 金	0	0.0%	9,000	0.4%	16,400	0.7%	7,400	82.2%
繰 越 金	26,124	1.5%	34,941	1.5%	43,732	1.8%	8,791	25.2%
諸 収 入	17,756	0.9%	21,688	0.9%	9,019	0.3%	△ 12,669	△58.4%
組 合 債	82,300	4.0%	356,700	15.0%	366,400	14.8%	9,700	2.7%
寄 附 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	2,034,293	100%	2,381,836	100.0%	2,475,728	100.0%	93,892	3.9%

（1）款別決算状況

1 款 分担金及び負担金

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
入	1. 分担金 1. 事務組合分担金	2,036,219	2,036,219	5, 6

※ 項目ごとに四捨五入しているため、合計金額が一致しない場合があります。（以下同じ）

前年度と比較すると 81,115 千円増となりました。

均等割 33％ 人口割 67％ ※ 淡路広域消防事務組合規約による

洲本市 665,769 千円 （32.70％）

南あわじ市 696,849 千円 （34.22％）

淡路市 673,601 千円 （33.08％）

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
入	2. 負担金 1. 緊急通報センター負担金	1,000	1,000	5, 6
	2. 負担金 2. 移譲事務負担金	155	154	

緊急通報装置は、指令センターで運用管理し、高齢の独居者を対象とした緊急通報システムで、淡路広域行政事務組合から事務を受託しています。前年度から増減はありません。

移譲事務は、高圧ガス、液化石油ガス及び火薬類の保安に係る事務を構成3市から受託しています。前年度から 55 千円減となりました。

洲本市 47 千円 南あわじ市 32 千円 淡路市 75 千円

2 款 使用料及び手数料

歳 入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 手数料 1. 消防手数料 2. 使用料 2. 総務使用料	2,020 105	2,311 106	5, 6

危険物申請手数料、り災証明手数料及び行政財産使用料による収入で、危険物に係る申請件数は増加（153 件→173 件）し、前年度から 123 千円増となりました。

3 款 財産収入

歳 入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 財産運用収入 1. 利子及び配当金	387	387	7, 8

財政調整基金利子による収入で、前年度から 43 千円減となりました。

4 款 繰越金

前年度繰越金 43,732 千円、前年度と比較すると、8,791 千円増となりました。

5 款 諸収入

歳 入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 雑入 1. 救急支弁金	5,851	5,852	7, 8

神戸淡路鳴門自動車道における救急業務に関する支弁金で、前年度から 557 千円減となりました。

歳 入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 雑入 2. 雑入	4,634	3,166	7, 8

県消防学校派遣なく給与返納がなかったことにより前年度から 12,113 千円減となりました。

○主な内容と収入済額

緊急消防援助隊活動費負担金	1,043 千円
職員健康診断助成金	882 千円
保険事務取扱手数料	816 千円
共済保険金	172 千円

6款 組合債

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 事務組合債 1. 消防債	391,700	366,400	9, 10

前年度と比較し 9,700 千円増となりました。

○内容

車両更新事業

（岩屋分署ポンプ自動車、南淡分署救急車、西淡分署救急車、洲本消防署指揮車）

事業費 139,075 千円 起債額 139,000 千円

岩屋分署庁舎建設事業 事業費 108,118 千円 起債額 95,800 千円

消防指令センター及び消防救急デジタル無線施設整備事業

事業費 131,637 千円 起債額 131,600 千円

7款 繰入金

歳入	科目（項・目）	予算現額（千円）	収入済額（千円）	頁
	1. 繰入金 1. 基金繰入金	17,900	16,400	9, 10

消防施設整備事業の財源とするため、基金の一部を取崩しています。

3 歳出

支出済額を前年度と比較すると、97,326 千円増（4.2%）となりました。人事院勧告に基づく給与増に伴い、人件費が増加したことが主な要因となっています。

令和4年度～令和6年度 歳出の推移

（単位：千円）

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		前年度比較(R6-R5)	
	支出済額	構成比	支出済額	構成比	支出済額	構成比	増減額	増減率
議会費	201	0.0%	202	0.0%	208	0.0%	6	3.0%
総務費	548	0.0%	718	0.0%	31,189	1.3%	30,471	4243.9%
消防費	1,679,221	84.0%	2,055,884	88.0%	2,126,248	87.3%	70,364	3.4%
公債費	319,382	16.0%	281,300	12.0%	277,785	11.4%	△ 3,515	△1.2%
予備費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,999,352	100%	2,338,104	100.0%	2,435,430	100.0%	97,326	4.2%

(1) 科目別決算状況

1 款 議会費

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
出	1. 議会費 1. 議会費	212	208	11, 12

令和 6 年度において、定例会 2 回、臨時会 3 回、計 5 回を開催しました。

2 款 総務費

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
出	1. 総務管理費 1. 一般管理費	195	140	11, 12

一般管理費は、特別職報酬を支出しています。前年度から 5 千円減となりました。

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
出	1. 総務管理費 2. 財政調整基金費	30,904	30,904	11, 12

組合財政の健全な運営に資するため財政調整基金を積み立てました。

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
出	2. 監査委員費 1. 監査委員費	163	145	11, 12

監査委員費は、監査等実施に要する経費として、監査委員の報酬等を支出しています。

令和 6 年 5 月 24 日 現金出納検査

令和 6 年 7 月 16 日 現金出納検査、決算審査

令和 6 年 10 月 22 日 現金出納検査、定期監査

3 款 消防費

歳	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
出	1. 消防費 1. 常備消防費	1,781,350	1,747,418	13～18

常備消防費は、消防職員に係る人件費、研修費、旅費、消防車両及び機材の点検整備費用、通信指令システムに係る通信費及び保守管理費用、火災・救急・救助活動に必要な備品等の経費を支出しており、前年度から 75,942 千円増となりました。

○主要内容と支出済額

人件費（報酬、給料、職員手当等、共済費）	1,567,011 千円
需用費（消耗品費、燃料費、修繕料、光熱水費等）	78,609 千円
役務費（自動車損害保険料、通信費等）	18,284 千円
委託料（指令システム保守、機材維持管理等）	21,511 千円
使用料及び賃借料（通信回線利用料等）	12,769 千円
備品購入費（指令・予防・警防・救急・救助）	5,625 千円
負担金（消防学校・救命士養成等研修負担金、派遣職員給与返納金等）	39,349 千円

【警防関係】

令和6年中の火災件数は101件で、前年と比較して3件増となり、市別の内訳は、洲本市36件、南あわじ市27件、淡路市38件となりました。

火災種別では、その他の火災が61件で全体の60.4%を占め、次いで建物火災が27件で26.7%となりました。

これらの火災により、37棟が焼損、2名が死亡し、9名が負傷しました。

単位：件

火災件数	令和4年	令和5年	令和6年
洲本市	37	28	36
南あわじ市	29	20	27
淡路市	53	50	38
計	119	98	101

救急件数は7,405件で、前年と比較して201件増となり、市別の内訳は、洲本市2,481件、南あわじ市2,217件、淡路市2,704件、その他3件となりました。

事故種別では、急病が4,435件で全体の59.9%を占め、次いで一般負傷が1,276件で17.2%となりました。

単位：件

救急件数	令和4年	令和5年	令和6年
洲本市	2,290	2,371	2,481
南あわじ市	2,011	2,235	2,217
淡路市	2,425	2,592	2,704
その他	2	6	3
計	6,728	7,204	7,405

救助件数は143件で、前年と比較して7件減となり、市別の内訳は、洲本市60件、南あわじ市36件、淡路市46件、その他1件となりました。

事故種別では、交通事故が42件で全体の29.4%を占め、次いでその他の事故が35件で24.5%となりました。

単位：件

救助件数	令和4年	令和5年	令和6年
洲本市	36	45	60
南あわじ市	30	52	36
淡路市	42	52	46
その他	0	1	1
計	108	150	143

その他の災害の件数は 434 件で、前年と比較して 104 件減となりました（救急支援、調査・警戒等を総称して、その他の災害としています。）

災害種別では、救急支援が 188 件で全体の 43.3%を占め、次いで調査・警戒が 167 件で 38.5%となりました。

単位：件

その他の災害	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
件 数	416	538	434

【通信関係】

119 番受信件数は 10,786 件で、前年と比較して 111 件減となりました。

通報種別では、救急が 6,920 件で全体の 64.1%を占め、次いで病院紹介が 489 件で 4.5%となりました。

そのほか、423 件の通報訓練を行いました。

単位：件

119 番受信	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
件 数	10,631	10,897	10,786

【予防関係】

火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守るためには、防火意識や防災行動力を高めることが何よりも大切です。

住宅防火訪問や火災予防運動での広報活動を通じて、住宅用火災警報器の適切な設置及び維持管理の周知を図るとともに、消防職員による高齢者世帯等に対する住宅用火災警報器の取付支援を行いました。また、火災予防のために防火対象物及び危険物施設への立入検査を行い、消防法令違反の是正及び防火管理体制の指導を継続して取り組みました。



歳 出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 消防費 2. 消防施設整備費	409,702	378,830	19,20

消防施設整備費は、庁舎整備に係る工事費、車両整備事業に要した費用を支出しています。前年度と比較すると 5,577 千円減となりました。

今年度、庁舎関係では、消防整備基本計画に基づき更新に着手していた岩屋分署庁舎建築工事が完了しました。

車両整備においては、岩屋分署の消防ポンプ自動車、南淡分署及び西淡出張所の救急自動車を更新したほか、機器整備では、消防指令センター及び消防救急デジタル無線施設整備事業の実施設設計が完了し、工事に着手しました。

○主な内容と支出済額

岩屋分署庁舎建設工事（工事監理業務等を含む） 108,118 千円

高機能消防指令センター工事（実施設計業務、工事監理業務を含む） 131,637 千円

消防・救急自動車購入 139,075 千円

- ・ 岩屋分署消防ポンプ自動車
- ・ 南淡分署及び西淡出張所救急自動車
- ・ 洲本消防署指揮車

- ・ 岩屋分署庁舎完成写真



4款 公債費

歳 出	科目（項・目）	予算現額（千円）	支出済額（千円）	頁
	1. 公債費 1. 元金	271,836	271,836	19, 20
	1. 公債費 2. 利子	7,341	5,950	

令和5年度に借り入れた、津名一宮ポンプ車・洲本救急車等にかかる元利償還を開始する一方、過年度に借り入れた西淡救急車、指令機器更新にかかる元利償還が終了したことより、前年度から3,514千円減となりました。

公債費の状況

借入年度	事業名	借入額	償還金		未償還残高	利率	償還終期 年月日
			当年度償還金	償還金累計			
		円	円	円	円	%	
平成25年度	新庁舎建設工事	46,200,000	3,356,824	32,535,660	13,664,340	0.70	R11.3.20
平成26年度	新庁舎建設工事	9,500,000	683,535	6,030,652	3,469,348	0.50	R12.3.20
平成26年度	消防救急デジタル無線	341,400,000	37,932,000	341,400,000	0	0.53	R7.3.31
平成26年度	新庁舎建設工事	619,400,000	44,200,000	398,400,000	221,000,000	0.775	R12.3.31
平成27年度	新庁舎建設工事	302,200,000	33,576,000	268,624,000	33,576,000	0.35	R8.3.31
平成30年度	由良救急車	27,700,000	4,616,000	23,084,000	4,616,000	0.01	R8.3.31
平成30年度	西淡ポンプ車・資機材搬送車	47,600,000	7,932,000	39,668,000	7,932,000	0.01	R8.3.31
令和元年度	北淡救急車・北淡ポンプ車	72,000,000	18,000,000	72,000,000	0	0.19	R7.3.31
令和元年度	指令機器更新・由良庁舎設計	56,000,000	9,334,000	37,336,000	18,664,000	0.16	R9.3.31
令和2年度	洲本梯子車	139,700,000	34,925,000	139,700,000	0	0.19	R7.3.31
令和2年度	津名救急車	31,900,000	6,380,000	25,520,000	6,380,000	0.189	R8.3.19
令和2年度	由良庁舎建設	213,100,000	10,655,000	42,620,000	170,480,000	0.40	R23.3.20
令和3年度	洲本ポンプ車・五色ポンプ車	91,100,000	22,775,000	56,936,645	34,163,355	0.002	R8.9.20
令和4年度	由良ポンプ車	48,900,000	10,880,000	27,200,000	21,700,000	0.245	R9.3.19
令和4年度	洲本消防署感染防止対策工事	17,900,000	3,580,000	7,160,000	10,740,000	0.40	R12.3.20
令和4年度	岩屋庁舎建設設計	15,500,000	3,100,000	6,200,000	9,300,000	0.40	R12.3.20
令和5年度	津名一宮ポンプ車・洲本救急車	80,300,000	16,060,000	16,060,000	64,240,000	0.35	R11.3.21
令和5年度	津名一宮分署感染症対策工事	30,000,000	3,000,000	3,000,000	27,000,000	0.51	R16.3.17
令和5年度	岩屋分署庁舎建設工事	237,900,000	0	0	237,900,000	0.875	R26.3.20
令和5年度	指令センター施設整備実施設計	3,100,000	310,000	310,000	2,790,000	0.67	R16.3.17
令和5年度	デジタル無線施設整備実施設計	5,400,000	540,000	540,000	4,860,000	0.67	R16.3.17
令和6年度	岩屋分署庁舎建設工事	95,800,000			95,800,000	1.275	R27.3.20
令和6年度	消防指令センター及び消防救急デジタル無線施設整備工事	131,600,000			131,600,000	1.09	R17.3.20
令和6年度	消防・救急車両購入	128,300,000			128,300,000	0.84	R12.3.20
令和6年度	洲本指揮車購入	10,700,000			10,700,000	0.70	R12.3.20
計		2,803,200,000	271,835,359	1,544,324,957	1,258,875,043		

(2) 性質別決算状況

令和4年度～令和6年度 性質別経費の状況

(単位：千円)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		前年度比較 (R6-R5)	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
人件費	1,406,125	70.3%	1,473,076	63.0%	1,541,326	63.3%	68,250	4.6%
物件費	126,634	6.4%	127,735	5.5%	132,207	5.4%	4,472	3.5%
維持補修費	4,177	0.2%	6,102	0.3%	5,618	0.2%	△ 484	△7.9%
補助費等	36,006	1.8%	40,533	1.7%	42,145	1.7%	1,612	4.0%
扶助費	24,285	1.2%	24,520	1.1%	26,615	1.1%	2,095	8.5%
公債費	319,382	16.0%	281,300	12.0%	277,785	11.4%	△ 3,515	△1.2%
普通建設費	82,479	4.1%	384,408	16.4%	378,830	15.6%	△ 5,578	△1.5%
積立金	264	0.0%	430	0.0%	30,904	1.3%	30,474	7087.0%
合計	1,999,352	100.0%	2,338,104	100.0%	2,435,430	100.0%	97,326	4.2%

人件費は歳出全体の 63.3%を占め 1,541,326 千円、人事院勧告に基づく給与増に伴い、前年度から 68,250 千円増となりました。

物件費は 132,207 千円、被服費等により、前年度と比較して 4,472 千円増となりました。

維持補修費は 5,618 千円、各署所庁舎修繕に要した費用の減少により、前年度より 484 千円減となりました。

補助費等 42,145 千円のうち、67.8% (28,592 千円) が関係市から当組合への派遣職員の人件費負担金となっています。

公債費は 277,785 千円、前年度と比較して 3,515 千円減となりました。

普通建設事業費は 378,830 千円、庁舎建設工事費が前年より減少したことにより前年度と比較して 5,578 千円減となりました。

積立金は 30,904 千円、前年度と比較して 30,474 千円増となりました。

※ 令和6年度末財政調整基金高 337,228 千円

以上